

食品や玩具、米中と安全対策で共通基準策定に合意



The Knights

欧州連合(EU)は11月17日におもちゃなど子どもが使う製品などに関する中国と米国の3カ国の政府高官による安全サミットを開催しました。このサミットでは、これまで中国製品の乳製品や玩具などから健康を損なう危険物質が相次ぎ検出されたことから、中国製品の安全対策に絡み、共通基準を策定することで基本合意に達しました。EUと米国は更に、中国製品の監視強化や安全性に関する情報提供の拡充を求め、中国もこれを受け入れました。

また、危険物質の混入が発見された場合に製造過程を追跡調査できる体制の整備も求めました。

欧州委員会(EC)によると、危険と判断されて市場から回収される消費生活用製品の約50%が中国で生産されていると指摘、3カ国にとって製品の安全は共通の課題として協力が必要としています。

今後これにより、EUと米中が策定を進める共通基準は、安全性の国際標準となる公算が高くなりそうです。

当社では、欧州規制のRoHS指令やEN71-Part3などの規制項目をはじめ、有害物質の分析に実績があります。お気軽にお問い合わせください。

資料 2008年11月17日付 EUプレスリリース
2008年11月18日付 日本経済新聞

品質検査箇所 竹下尚長